

有明客船ターミナル・有明小型船発着所浮桟橋 一次評価

大項目	中項目	確 認 項 目				
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配 点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		人員配置（配置数、配置箇所、専門性等）	×1		○	
		人材育成の取組（専門性向上、接遇向上等）	×1		○	
		施設の使用許可等（公平な利用者選定）	×1		○	
		施設の維持補修・修繕	×1	○		
		施設の警備	×1		○	
		施設の清掃（施設の清潔さ）	×1		○	
		施設の緑地管理	×1		○	
		施設の維持管理	×1		○	
	【評価の内容】 基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき適切に履行されている。 8月のゲリラ豪雨により館内の石製の壁が一部落下した際は、更なる落下に対し防止策を検討した上で、修繕し利用復旧に繋げた。 また、老朽化が進行しているウッドデッキを人工木材にする更新工事を実施するなど協定費用の中から補修経費を捻出し、積極的に安全な施設管理に努めている。					
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	配 点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		防災・防犯への配慮	×1		○	
		緊急時対策	×1		○	
		施設・設備管理に関する書類等の整理	×1		○	
		事故への対応	×1	○		
【評価の内容】 適切に日常点検が行われている。大規模災害訓練、情報伝達訓練等を実施し、I P無線機を導入するなど緊急時の対策に努めている。 8月のゲリラ豪雨の際は館内の石製の壁が一部落下、トイレ内の天井落下が発生した中、迅速に施設の一部閉鎖を都と協議し、適切に対応した。						
法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配 点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点	
	個人情報保護・情報公開の取組（内部規定の策定、研修等）	×1		○		
	各種法令等の遵守	×1		○		
	利用記録等各種情報の管理	×1		○		
	情報事故への対応	×1		○		
【評価の内容】 社内規程等が整備され、情報管理は適切に管理が行われている。情報事故は起きておらず、法令等も遵守されている。						
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	配 点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点	
	収支状況	×1		○		
	経理処理	×1		○		
	都有財産等（物品・現金等）の管理	×1		○		
	経理・現金に関する書類等の管理	×1		○		
【評価の内容】 経理処理及び財産管理は、関係書類等が整理され、適切に行われている。						

事業効果	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか	配 点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		自主事業の企画、実施、成果	×2	○		
		利用者サービス向上に向けた取組	×2	○		
		利用促進への取組（広報、PR等）	×2		○	
		【評価の内容】 年2回開催している有明客船ターミナルから船で港内をめぐる東京港見学会では、好評により応募人数を290人に人数を増やして実施。冬の見学会ではお台場レインボー花火の開催日に合わせるなど工夫している。また、清掃船の絵本をきっかけに実物見学希望の保育園からの要望に応え、会場としてターミナルにて清掃船のデモンストレーション・質問対応を実施した。 オープンローミング対応公衆Wi-Fiの整備や、QRコードにより遠隔手話通訳者の方とビデオ通話接続可能となるポスターを掲示し利便性の向上に努めている。				
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか	配 点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		利用者数（環境の変化など外部要因を考慮）	×2		○	
		行事・写真撮影等の件数	×2		○	
	【評価の内容】 実証実験中の不定期航路を含めた乗降客数は前年度比30%増で、コロナ前の約76%の水準である。一方、撮影・行事等の件数は、豪雨による施設一部閉鎖の影響により前年度からは減少している。					
	利用者の反応	利用者の満足を得られているか。	配 点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		職員の接客対応	×2		○	
		施設設備の状況	×2		○	
		利用条件	×2		○	
		イベント等の企画内容	×2	○		
	【評価の内容】 常設に加え自主事業で実施したアンケートでは、施設の清潔感に66%が満足と回答し一定の評価を得た。トイレの清潔感の項目では2件不満の声があったが、今後の改善につながる内容である。 自主事業である東京港見学会では、昨年度より年2回の開催とし今年度より応募人数を各230名から290名に増やし対応しているが、人気企画のため42倍の抽選倍率となり、アンケートの自由意見欄において貴重な体験等へのお礼や「楽しかった」などの回答が多数を占め、高い満足度を得られたことが伺える。					
行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。	配 点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点	
	都及び関係機関等との連携	×2		○		
	都の実施策への協力	×2		○		
【評価の内容】 ビッグサイトのイベント時は駐車スペースを有効活用した駐輪場の貸付け対応を行い、海の森イベントなど、浮桟橋やターミナル施設を使用している都行事の開催に際して、受付や誘導案内を行った。 また、ターミナル施設を使用している都行事ポスター掲示に積極的に協力している。						

特 記 事 項	施設の不具合や、事故等を予防する観点で、必要な補修等が行われており、また施設が老朽化するなか、館内装飾や利便性向上に取り組み、施設の評価を下げることなく適正に維持している。 乗降客数の回復が伸び悩み、利用の活性化が難しいなかでの施設運営となっているが、人気の高い自主事業イベントの参加人数を増やすなど、施設の活用に努めている。
要 改 善 事 項	特になし。

【一次評価結果】

評 点	標 準 点	評価基準				一次評価結果	得 点	B
		S	A	B	C		50点	
	42点	56点以上	55点以下 53点以上	52点以下 37点以上	36点以下			

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者 の財務状況	別紙「事業者の財務状況の確認」とおり、港湾施設の管理運営事業を行うに当たり、財務状況による支障等は見受けられない。
----------------	---

竹芝客船ターミナル・竹芝小型船発着所浮桟橋 一次評価

大項目	中項目	確 認 項 目				
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		人員配置（配置数、配置箇所、専門性等）	×1		○	
		人材育成の取組（専門性向上、接遇向上等）	×1		○	
		施設の使用許可等（公平な利用者選定）	×1		○	
		施設の維持補修・修繕	×1	○		
		施設の警備	×1		○	
		施設の清掃（施設の清潔さ）	×1		○	
		施設の緑地管理	×1		○	
		施設の維持管理	×1		○	
		【評価の内容】 施設全体として様々な不具合が発生している中、維持補修等を適切に行い、施設の安全性保持に努めている。利用者が直接影響を受けるトイレ排気ファン補修、中央広場不陸補修、安全に影響する消防設備補修等実施し、トラブルの未然防止に繋げている。また、施設の警備においては、乗船客同士のトラブルや路上生活者の島民控室の居座り等、様々な問題において警察との連携を図り、適切な管理を行っている。				
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		防災・防犯への配慮	×1		○	
		緊急時対策	×1		○	
		施設・設備管理に関する書類等の整理	×1		○	
		事故への対応	×1		○	
		【評価の内容】 日常のパトロールに加え、テロ予告、花火イベント、要人の来館時には特別警戒を実施し、防犯に取組んでいる。防災訓練では、翻訳機・デジタルサイネージを活用し多言語避難誘導を実施している。また、海への転落事故、乗客のトラブル発生時には、警察、消防と連携し適切に対処している。				
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		個人情報保護・情報公開の取組（内部規定の策定、研修等）	×1		○	
		各種法令等の遵守	×1		○	
		利用記録等各種情報の管理	×1		○	
		情報事故への対応	×1		○	
		【評価の内容】 社内規程等が整備され、情報管理は適切に管理が行われている。情報事故は起きておらず、法令等も遵守されている。				
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		収支状況	×1		○	
		経理処理	×1		○	
		都有財産等（物品・現金等）の管理	×1		○	
		経理・現金に関する書類等の管理	×1		○	
		【評価の内容】 経理処理及び財産管理は、関係書類等が整理され、適切に行われている。				
事業効果	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		自主事業の企画、実施、成果	×2	○		
		利用者サービス向上に向けた取組	×2	○		
		利用促進への取組（広報、PR等）	×2		○	
		【評価の内容】 島しょ振興のため、「小笠原DAY」では、中央広場にやぐらを設置し盆踊りを実施するなどイベントを盛り上げており、神津島の星空保護区認定記念イベントでは、星にまつわる楽曲の演奏と星空の魅力を語るイベントを開催し、島の魅力を発信している。賑わい創出では、近隣企業・団体と連携した納涼イベント「竹芝夏フェス」開催し、開催3日のうち2日荒天中止となる中、フォトスポットを設置したところ、ターミナルの人気スポットとなった。現在は常設したターミナルのシンボルの一つとなっている。 利用者サービス向上に向けた取り組みでは、季節に合わせて七夕やクリスマスなどの館内の装飾を行い、乗船までの時間など来館者を飽きさせない工夫をしている。また、ターミナル入口に設置したモヤイ像の案内板については多言語音声QRコードを設置し、外国人利用者でも楽しめる仕組みに取り組んでおり、責務を果たしている。				
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		利用者数（環境の変化など外部要因を考慮）	×2		○	
		行事・写真撮影等の件数	×2		○	
		【評価の内容】 乗降客数は横ばいとなっており、コロナ前の6割の水準となっているが徐々に回復傾向である。撮影許可件数のうち映画等撮影が前年比32%増となりロケーションの知名度が向上している。				
	利用者の反応	利用者の満足を得られているか。	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		職員の接客対応	×2		○	
		施設設備の状況	×2	○		
		利用条件	×2		○	
		イベント等の企画内容	×2	○		
		【評価の内容】 施設設備の状況における来館者アンケートでは、80%以上が満足度が高いと評価している。 問い合わせ記録や来館者アンケートでは、接客に関する苦情はなく、また、自主事業開催時のアンケートからは、全体的に満足度が高い評価を得ている。特に新規自主事業として実施した”星降る島”神津島トーク&ライブでは、イベントの感想、スタッフ対応等において約90%が満足度が高いと評価をしている。 昨年度に引き続き喫煙所以外での喫煙マナーについて苦情があり、巡回時の注意喚起、自動音声及び注意看板等により対応を行っている。				
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		都及び関係機関等との連携	×2	○		
		都の実施策への協力	×2		○	
		【評価の内容】 警察、海上保安部、運航事業者等と連携し、テロ予告、要人来館時の特別警戒や、近隣での花火大会における事前協議・当日警戒により事件事故の未然防止に繋げている。また、施設の特徴を活かし、島しょに関連するPRの掲示及びデジタルサイネージを使用した放映を行っている。東京消防庁の救助訓練実施の際には、関係者への周知先、一部施設の利用協力など調整を行っている。また、東京都施工の工事において、業者との施設のスケジュール調整、利用者への告知等を行うなど、施設管理者として積極的に東京都の事業に協力している。				

特 記 事 項	伊豆・小笠原諸島への海の玄関口として島民、観光客等の利用が多く、東京の観光スポットとしても重要な施設である中、老朽化している施設の維持に努め、管理を適切に行っている。また、イベント開催において積極的に関係者等と協力し取り組み、島しょ振興及び魅力発信に貢献し、指定管理者としての責務を十分に果たしている。
要 改 善 事 項	特になし。

【一次評価結果】

評 点	標 準 点	評価基準				一次評価結果	得 点	A
		S	A	B	C			
	42点	56点以上	55点以下 53点以上	52点以下 37点以上	36点以下		53点	

【確認事項】

1. 財務状況

指 定 管 理 者 の 財 務 状 況	別紙「事業者の財務状況の確認」とおり、港湾施設の管理運営事業を行うに当たり、財務状況による支障等は見受けられない。
------------------------	---

2. 特命要件の継続

特 命 要 件 の 継 続	適切に管理・調整がなされ、都及び合築建物の事業者、船社などとの各種調整を行い支障なく事業を実施した。
------------------	--

岸壁・運搬給水施設（竹芝ふ頭船舶給水施設外7施設） 一次評価

大項目	中項目	確 認 項 目				
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		人員配置（配置数、配置箇所、専門性等）	×1		○	
		人材育成の取組（専門性向上、接遇向上等）	×1		○	
		施設の使用許可等（公平な利用者選定）	×1		○	
		施設の維持補修・修繕	×1	○		
		施設の清掃（施設の清潔さ）	×1	○		
	安全性の確保	【評価の内容】 基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき適切に実施されている。 社内においてカスタマーサービス研修をはじめ上級救命講習、クレーム対応研修など人材育成に取り組んでいる。 晴海ふ頭の栈橋下給水管の破損による漏水の通報には、迅速に対応し利用者へ影響を最小限に抑えることができた。 協定費用の中から補修経費を捻出し、老朽化した竹芝ふ頭の給水栓更新や、東京国際クルーズふ頭の給水栓蓋の段差解消補修を行うなど、積極的に事故の未然防止に取り組んでいる。 また、岸壁給水施設のある岸壁において、草刈りを自主的に行うなど環境整備に努めている。				
		施設の安全性は確保されているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		防災・防犯への配慮	×1		○	
		緊急時対策	×1	○		
		施設・設備管理に関する書類等の整理	×1		○	
		事故への対応	×1		○	
事業効果	法令等の遵守	【評価の内容】 安全管理に関する講習、研修を定期的に実施し、緊急時の連絡体制を整えている。また、年に5回実地訓練（緊急操舵訓練2回・大規模災害訓練1回・情報伝達訓練2回）が行われている。 緊急時の対策として写真・動画・位置情報をリアルタイムに共有できる災害用ＩＰ無線機を導入した。 また、安全航行に繋がる風向風速計のリアルタイムな情報を取得できるように東京港内に設置された風速システムの導入や夜間航行の視認性向上に繋がる「船舶用暗視カメラ」を設置し、事故の未然防止に取り組んでいる				
		個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		個人情報保護・情報公開の取組（内部規定の策定、研修等）	×1		○	
		各種法令等の遵守	×1		○	
		利用記録等各種情報の管理	×1		○	
		情報事故への対応	×1		○	
	適切な財務・財産管理	【評価の内容】 社内規程等が整備され、情報管理は適切に管理が行われている。情報事故は起きておらず、法令等も遵守されている。				
		適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		収支状況	×1		○	
		経理処理	×1		○	
		都有財産等（物品・現金等）の管理	×1		○	
		経理・現金に関する書類等の管理	×1		○	
事業効果	事業の取組	【評価の内容】 経理処理及び財産管理は、関係書類等が整理され、適切に行われている。				
		事業計画どおりのサービスが提供されているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		利用者サービス向上に向けた取組	×2		○	
		利用促進への取組（広報、PR等）	×2	○		
	利用の状況	【評価の内容】 利用者サービス向上に向けた取組として、晴海ふ頭と運搬給水船における給水施設の水質検査結果について、日本語・英語のホームページで、情報を発信している。 利用者の要望を受け、東京国際クルーズふ頭においては、令和4年度から継続して水質検査結果の公表を四半期毎に実施している。 また、船舶給水船の補修箇所が多岐に渡ることから例年に比べドック入りが長期間（3か月）になる中、早期に関係機関への事前周知や調整を行い、混乱なく修繕が完了した。 利用促進への取組として、イベントの出展（東京みなと祭り・みなと区民祭り）や、東京港見学会では給水船の放水デモンストレーションを実施した。				
		事業計画どおりの利用状況となっているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		利用件数（環境の変化など外部要因を考慮）	×2		○	
		【評価の内容】 給水全体件数は、昨年度とほぼ横ばいで推移している中、東京国際クルーズふ頭への大型クルーズ船の寄港増により、当該ふ頭の給水実績は、70％増加。 給水量全体では、岸壁給水において30％の増加、特に国際クルーズふ頭では100％の増加となった。				
	利用者の反応	利用者の満足を得られているか。	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		職員の接客対応	×2		○	
		施設設備の状況	×2		○	
		利用条件	×2		○	
	行政目的の達成	【評価の内容】 給水施設利用者へのアンケートにおいて、回答を得られた件数は少ないものの、接客対応に関連する項目に関して「満足」の評価を約7割のお客様から得ており、その他の項目もおおむね良好な評価がなされている。				
		行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
事業効果	行政目的の達成	施設の目的達成	×2	○		
		【評価の内容】 年1回のドック入りに向けて事前に都と協議を行い、機能維持、延命化に向けて機関部、電気部の現状報告、顧客サービス向上に繋がる給水量の電光表示板の設置提案を行うなど都に協力をしている。また、誘致施策により大幅に増加したクルーズ客船への給水作業が増加しているが、サービスの停止や遅延を起こすことなく1年を通じて給水オーダーに応えた。				

特 記 事 項	港灣管理者の責務である給水事業を担う者として、責任をもって衛生管理に注意を払いながら休日や深夜の給水オーダーにも着実に対応してきている。また施設の予防保全にも積極的に取り組み、都への情報も迅速に共有されている。
要 改 善 事 項	特になし。

【一次評価結果】

評 点	標 準 点	評価基準				一次評価結果	得 点	B
		S	A	B	C		38点	
	31点	42点以上	41点以下 39点以上	38点以下 28点以上	27点以下			

【確認事項】

1. 財務状況

指 定 管 理 者 の 財 務 状 況	別紙「事業者の財務状況の確認」のとおり、港灣施設の管理運営事業を行うに当たり、財務状況による支障等は見受けられない。
------------------------	--

指定管理者の管理運営状況評価について

第 1 一次評価（所管局による評価）

（1）確認項目の評価基準

評価に当たっては、施設の設置目的や指定管理者が果たすべき役割などを踏まえ、各確認項目について、「水準を上回る（2点）」、「水準どおり（1点）」及び「水準を下回る（0点）」の3段階で評価を行う。

各確認項目について、施設の管理運営において所管局が求める水準を評価水準として定め、なるべく客観的な事実及び情報に基づき、達成状況を分析する。

（2）一次評価の評価基準

各確認項目の評価の得点の合計点に基づき、一次評価を決定する。

<客船ターミナル等及び船舶給水施設>

大項目	中項目	確 認 項 目	確認項目数	
			・有明 ・竹芝	・船舶給水
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	8	5
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	4	4
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか	4	4
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	4	4
事業効果	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか	3	2
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか	2	1
	利用者の反応	利用者の満足を得られているか	4	3
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか	2	1
合 計			3 1	2 4

（3）その他

一次評価では、確認項目の評価のほか、指定管理者の財務状況や特命要件継続の有無に関して、分析等を行う。

第2 二次評価（評価委員会による評価）

（1） 評価の内容

評価委員会は、施設の設置目的、所管局の示した管理運営において求める水準、指定管理者が果たすべき役割などを踏まえた上で、各種資料を基に、一次評価の内容について検証し、管理運営状況、事業効果その他について客観的・専門的な評価を行う。

更に評価委員会は、公の施設の設置目的を最大限発揮させていくという観点から、所管局に対して指定管理者のサービス水準の向上、効率的な運営の推進等に関する助言を行うことができる。

（2） 二次評価の評価基準

二次評価は、次の4段階で決定する。

評 価	内 容
S	管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A	管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B	管理運営が良好であった施設
C	管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

「S」評価は、特に優れた取組を行い、成果をあげている指定管理者を評価するために用いることとする。よって、「S」と位置づける場合は、指定管理者の取組や成果が真に当該評価に該当するものであるか、十分に検証することとする。

第3 総合評価

所管局は、一次評価及び二次評価結果に基づき、総合評価を決定する。

■ 事業者の財務状況の確認

対 象 施 設		客船ターミナル施設等 船舶給水施設	指定管理者	東京港埠頭株式会社
確認 項目	確 認 内 容	意 見 ・ 検 討 内 容 等		
事 業 者 財 務 状 況	経営資本営業利益率 (%)	率、ランクとも選定時に対し、下回っている。		
	経営資本回転率 (回)	率、ランクとも選定時と同等の水準を維持している。		
	売上高営業利益率 (%)	率、ランクとも選定時と同等の水準を維持している。		
	流動比率 (%)	率、ランクとも選定時と同等の水準を維持している。		
	自己資本比率 (%)	率、ランクとも選定時と同等の水準を維持している。		
	固定資産長期資本比率 (%)	率、ランクとも選定時に対し、上回っている。		
	総 評	令和6年度も令和5年度同様に、港湾施設の管理運営事業を行うに当たり、財務状況による支障等は見受けられない。		

(1) 損益計算書（東京港埠頭株式会社 損益計算書）

(単位：千円)

科 目 (項目)	R2年度 (選定時)	R5年度	R6年度
売上高(営業収益) A	17,759,243	18,324,126	19,095,836
売上原価 B	14,300,544	15,514,972	16,029,666
販売費及び一般管理費 C	708,330	724,497	807,021
〔営業利益〕 D=(A-(B+C))	2,750,368	2,084,657	2,259,149

(2) 貸借対照表（東京港埠頭株式会社 貸借対照表）

(単位：千円)

科 目 (項目)	R2年度 (選定時)	R5年度	R6年度
流動資産 a	28,499,541	37,009,245	54,347,063
事業資産 b			
事業資産建設仮勘定 c			
固定資産 d	71,489,258	60,557,510	59,401,687
うち建設仮勘定 d-2	1,251,929	2,546,451	4,594,782
うち投資その他の資産 d-3	8,594,786	7,970,745	8,969,416
繰延資産 e	0	0	0
〔資産の部 計〕 E=(a+b+c+d+e) E=(a+d+e) (H20～)	99,988,799	97,566,755	113,748,750
流動負債 f	6,362,825	5,702,485	5,746,086
固定負債 g	32,343,293	25,907,704	25,343,729
引当金 h			
〔負債の部 計〕 F=(f+g+h) F=(f+g) (H20～)	38,706,118	31,610,190	31,089,816
資本金 i	16,855,000	16,855,000	24,379,618
羽田沖浅場維持管理基金 j			
資本剰余金 l	14,435,904	14,435,904	21,960,522
利益剰余金 k	29,991,776	34,665,660	36,318,793
評価・換算差額等その他 n	0	0	0
〔純資産の部 計〕 G=(i+j+k) G=(i+l+k+n) (H20～)	61,282,680	65,956,564	82,658,934
〔負債・純資産の部 計〕 H=(F+G)	99,988,799	97,566,755	113,748,750

(3) 経営資本（年度期首期末平均）

（単位：千円）

項 目	R2年度（選定時）	R5年度	R6年度
〔経営資本〕 E-c-(d-2)-(d-3) E-(d-2)-(d-3)-e (H20～)	90,142,084	87,049,559	100,184,552
		R4-R5年度	R5-R6年度
	期首+期末の平均	87,228,449	93,617,056
項 目	R2年度（選定時）	R5年度	R6年度
〔固定負債・純資産合計〕 G+g	93,625,973	91,864,268	108,002,663

【比較表】

	選 定 時		R6年度		ランク比較
	比率等	得 点	比率等	得 点	
経営資本営業利益率 (%)	3.03	2	2.41	1	下回
経営資本回転率 (回)	0.20	1	0.20	1	同等
売上高営業利益率 (%)	15.49	5	11.83	5	同等
流動比率 (%)	447.91	5	945.81	5	同等
自己資本比率 (%)	61.29	5	72.67	5	同等
固定資産長期資本比率 (%)	76.36	3	55.00	5	上回

【ランク表】

	算 出 結 果 範 囲				
	ラ ン ク				
経営資本営業利益率	～2.5	2.5～3.5	3.5～4.5	4.5～5.5	5.5～
	1	2	3	4	5
経営資本回転率	～0.5	0.5～0.8	0.8～1.2	1.2～2.2	2.2～
	1	2	3	4	5
売上高営業利益率	～2.5	2.5～3.5	3.5～4.5	4.5～5.5	5.5～
	1	2	3	4	5
流動比率	～70	70～90	90～120	120～200	200～
	1	2	3	4	5
自己資本比率	～25	25～35	35～45	45～55	55～
	1	2	3	4	5
固定資産長期資本比率	95～	95～85	85～75	75～65	65～
	1	2	3	4	5

■ 事業者の財務状況の確認

対 象 施 設		竹芝客船ターミナル施設等	指定管理者	株式会社東京テレポートセンター (東京港埠頭・テレポートセンターグループ)
確認項目	確 認 内 容	意 見 ・ 検 討 内 容 等		
事業者財務状況	経営資本営業利益率(%)	率、ランクとも選定時に対し、下回っている。		
	経営資本回転率(回)	率、ランクとも選定時と同等の水準を維持している。		
	売上高営業利益率(%)	率、ランクとも選定時と同等の水準を維持している。		
	流動比率(%)	率、ランクとも選定時に対し、上回っている。		
	自己資本比率(%)	率、ランクとも選定時に対し、上回っている。		
	固定資産長期資本比率(%)	率、ランクとも選定時に対し、上回っている。		
	総 評	令和6年度も港湾施設の管理運営事業を行うに当たり、財務状況による支障等は見受けられない。		

(1) 損益計算書（東京レポートセンター 損益計算書）

(単位：千円)

科 目 (項目)	R元年度 (選定時)	R5年度	R6年度
売上高(営業収益) A	16,659,254	14,967,914	15,509,162
売上原価(営業費用) B	11,885,536	12,575,732	12,813,253
販売費及び一般管理費 C	686,086	690,092	716,682
〔営業利益〕 D=(A-(B+C))	4,087,631	1,702,089	1,979,226

(2) 貸借対照表（東京レポートセンター 貸借対照表）

(単位：千円)

科 目 (項目)	R元年度 (選定時)	R5年度	R6年度
流動資産 a	7,539,138	10,604,871	11,922,193
事業資産 b			
事業資産建設仮勘定 c			
固定資産 d	125,256,709	118,710,069	117,526,039
うち建設仮勘定 d-2	5,435	6,215	4,967
うち投資その他の資産 d-3	560,397	302,390	446,841
繰延資産 e	0	0	0
〔資産の部 計〕 E=(a+b+c+d+e) E=(a+d+e) (H20～)	132,795,848	129,314,940	129,448,233
流動負債 f	4,616,118	41,581,314	5,015,808
固定負債 g	60,737,115	16,884,262	53,159,985
引当金 h			
〔負債の部 計〕 F=(f+g+h) F=(f+g) (H20～)	65,353,233	58,465,576	58,175,794
資本金 i	16,066,000	16,066,000	16,066,000
羽田沖浅場維持管理基金 j			
資本剰余金 l	16,064,000	16,064,000	16,064,000
利益剰余金 k	35,312,613	38,719,363	39,142,437
評価・換算差額等その他 n	0	0	
〔純資産の部 計〕 G=(i+j+k) G=(i+l+k+n) (H20～)	67,442,614	70,849,363	71,272,438
〔負債・純資産の部 計〕 H=(F+G)	132,795,848	129,314,940	129,448,233

(3) 経営資本（年度期首期末平均）

（単位：千円）

項 目	R元年度（選定時）	R5年度	R6年度
〔経営資本〕 E-c-(d-2)-(d-3) E-(d-2)-(d-3)-e (H20～)	132, 230, 016	129, 006, 335	128, 996, 425
		R4-R5年度	R5-R6年度
	期首+期末の平均	129, 256, 856	129, 001, 380
項 目	R元年度（選定時）	R5年度	R6年度
〔固定負債・純資産合計〕 G+g	128, 179, 729	87, 733, 625	124, 432, 423

【比較表】

	選 定 時		R6年度		ランク比較
	比率等	得 点	比率等	得 点	
経営資本営業利益率 (%)	3. 04	2	1. 53	1	下回
経営資本回転率 (回)	0. 12	1	0. 12	1	同等
売上高営業利益率 (%)	24. 54	5	12. 76	5	同等
流動比率 (%)	163. 32	4	237. 69	5	上回
自己資本比率 (%)	50. 79	4	55. 06	5	上回
固定資産長期資本比率 (%)	97. 72	1	94. 45	2	上回

【ランク表】

	算 出 結 果 範 囲 ラ ン ク				
	～2. 5	2. 5～3. 5	3. 5～4. 5	4. 5～5. 5	5. 5～
経営資本営業利益率	1	2	3	4	5
	～0. 5	0. 5～0. 8	0. 8～1. 2	1. 2～2. 2	2. 2～
経営資本回転率	1	2	3	4	5
	～2. 5	2. 5～3. 5	3. 5～4. 5	4. 5～5. 5	5. 5～
売上高営業利益率	1	2	3	4	5
	～70	70～90	90～120	120～200	200～
流動比率	1	2	3	4	5
	～25	25～35	35～45	45～55	55～
自己資本比率	1	2	3	4	5
	95～	95～85	85～75	75～65	65～
固定資産長期資本比率	1	2	3	4	5